

- 問1 「アメリカ合衆国（面積：約963万km²、人口：約3億2258万人）」、「ブラジル（面積：約852万km²、人口：約2億203万人）」、「モンゴル（面積：約156万km²、人口：約288万人）」、「フランス（面積：約64万km²、人口：約6688万人）」の4カ国のデータに基づき、単位面積あたりの人口である人口密度が最も高い国を答えなさい。（2016年 大阪府公立入試 類似）
1. モンゴル 2. アメリカ合衆国 3. ブラジル 4. フランス
- 問2 ヨーロッパ諸国の経済指標をまとめた資料において、一人あたりの国民総所得（GNI）が2万ドルに満たない国の多くが2004年以降にEUへ加盟した国々であるという特徴が見られます。このような加盟国間の経済格差によって生じている事象として、最も適切なものはどれですか。（2020年 岩手県公立入試 類似）
1. 加盟国間の格差を是正するため、所得の高い東側の新興加盟国から、経済の低迷する古い加盟国へと巨額の補助金が流れている。
2. 経済水準を一定に保つため、2004年以降に加盟した国々に対してのみ、EU域内での関税が特別に課されている。
3. 一人あたりの国民総所得が低い国々は、EU独自の共通通貨であるユーロの導入を制度上一切認められていない。
4. 賃金水準の差を背景として、2004年以降の加盟国から、比較的所得の高い西側の加盟国へと労働力が移動している。
- 問3 ヨーロッパの多くの国々の間では、国境を越えて移動する際の手続きを簡略化する協定が結ばれています。この協定に基づき、人々の円滑な移動を実現するために廃止された具体的な行為はどれですか。（2018年 群馬県公立入試 類似）
1. 国境におけるパスポートの検査 2. 国ごとに異なる独自の通貨の使用 3. インターネットによる情報のやり取りの制限 4. 域外から輸入される工業製品への関税
- 問4 EUの拡大にともなう課題を説明した次の文のうち、イギリスがEU離脱を決断した背景にある、社会的な要因と文化的な要因をまとめたものとして最も適切なものはどれですか。（2024年 北海道公立入試 類似）
1. 農産物の輸入自由化によって、国内の農業が壊滅的な打撃を受けたこと
2. 周辺諸国との領土問題が解決せず、安全保障上の不安が解消されなかったこと
3. 域内からの移民の流入が急増したことへの不満や、自国の伝統や文化が損なわれることへの懸念
4. 共通通貨ユーロの導入により、自国の金融政策が自由に行えなくなったことへの反発
- 問5 地中海に面したイタリアやフランスにおいて、古くから文化や生活の基盤となり、現在も多くの国民に信仰されているキリスト教の宗派として、最も適切なものを一つ選びなさい。（2021年 大分県公立入試 類似）
1. カトリック 2. 正教会 3. プロテスタント 4. イスラム教
- 問6 第二次世界大戦後のドイツにおいて、資本主義陣営と社会主義陣営の対立である「冷戦」を象徴し、1989年に崩壊するまでベルリンの街を物理的に分断していた構造物について、その設置の背景や目的として最も適切な説明を選びなさい。（2015年 山口県公立入試 類似）
1. ヨーロッパ諸国間での人や物の移動を制限し、ドイツ独自の経済圏を再構築するための関税障壁とするため。
2. 北大西洋条約機構（NATO）が、東欧諸国からの武力侵攻を直接防ぐための軍事要塞として建設したため。
3. 東ドイツから西ベルリンへの人口流出を防ぎ、社会主義体制の経済的・政治的安定を図るため。
4. ナチス・ドイツの残党による反乱を阻止するため、連合国軍が共同で市街地を封鎖したため。
- 問7 EU域内における企業の活動について述べた次の文の（X）と（Y）にあてはまる用語の組み合わせとして、正しいものを選びなさい。「西ヨーロッパの企業は、東ヨーロッパ諸国の（X）が自国よりも低いことに注目し、生産にかかる費用を抑えるために（Y）を進めている。」（2024年 佐賀県公立入試 類似）
1. X：労働人口 Y：共同研究 2. X：輸送コスト Y：資源開発 3. X：最低賃金 Y：工場移転 4. X：貿易額 Y：関税の廃止
- 問8 小麦の輸出統計において、アメリカ合衆国、カナダ、ロシアといった国々が世界の輸出量の上位を占めている主な理由として、これらの国々に共通する農業の背景を述べたものを選びなさい。（2019年 富山県公立入試 類似）
1. 熱帯の気候を生かし、特定の農産物を輸出用に栽培するモノカルチャー農業が普及しているため。
2. 山間部の限られた土地を利用し、労働力を集中させた集約的な稲作が行われているため。
3. 広大な平野において大型の機械を用いた大規模な農業が行われているため。
4. 地中海性気候による夏季の乾燥を利用した、果樹栽培や野菜作りが中心であるため。
- 問9 ヨーロッパの地中海沿岸など、夏に乾燥し冬に一定の降水がある温暖な気候を活かした「地中海式農業」において、オリーブやぶどうと並んで栽培される代表的な農作物はどれですか。日本においても、愛媛県や和歌山県などの温暖な地域で盛んに生産されているものを答えなさい。（2020年 岐阜県公立入試 類似）
1. ぶどう 2. みかん 3. うめ 4. りんご
- 問10 ロシアのエネルギー事情について述べた文として、統計上の特徴とその背景を正しく組み合わせた説明を選びなさい。（2023年 島根県公立入試 類似）
1. 一次エネルギー自給率が180%を超えており、豊富な天然ガスや石油を輸出に回している。
2. 一次エネルギー自給率は100%に近いが、石炭の輸出に依存しており石油や天然ガスの生産量は少ない。
3. 国内のエネルギー消費量が生産量を上回っているため、一次エネルギー自給率は80%程度にとどまっている。
4. 化石燃料の埋蔵量が少ないため、太陽光や風力などの再生可能エネルギーによって自給率100%を達成している。
- 問11 欧州連合（EU）の拡大に伴い、加盟国間での経済的な水準の差が大きな課題となっています。2007年以降に加盟した東ヨーロッパの国々と、フランスやドイツなどの初期からの加盟国の経済状況を比較した説明として、最も適切なものはどれですか。（2014年 兵庫県公立入試 類似）
1. EUでは加盟国すべての経済水準を均一にする制度が確立されているため、加盟時期による1人あたりの国民総所得の差は存在しない。
2. 2007年以降に加盟した東ヨーロッパの諸国は、初期の加盟国に比べて1人あたりの国民総所得が低い傾向にあり、域内の経済格差の要因となっている。
3. 東ヨーロッパの国々は急速な経済成長を遂げた結果、1人あたりの国民総所得において初期の加盟国をすべての面で上回っている。
4. 初期の加盟国は、東ヨーロッパの国々からの安価な農産物の流入を防ぐために、あえて自国の国民総所得を低く設定している。
- 問12 EU（欧州連合）における、人や物の移動の自由化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。なお、ここでは国境を越える際の物理的・経済的な障壁の変化に着目するものとします。（2023年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 加盟国間の移動には常にビザが必要であるが、共通通貨ユーロを導入したことで国境での税関検査がすべて免除された。
2. 加盟国間の国境管理を強化するためにパスポート検査を義務付け、各国が独自の通貨を維持することで経済の安定を図った。
3. 域内の貿易を制限するためにすべての国境に関税を課し、共通通貨ユーロの使用を一部の主要都市のみに限定した。
4. シェンゲン協定により加盟国間の国境でのパスポート検査が廃止され、共通通貨ユーロの導入によって経済活動の利便性が向上した。